

まなこ

2002
No.45

企画・発行 武蔵野市児童女性部児童女性課女性計画係



レポーター会議報告

44号「大人と子ども」について
 「子どもの意見があり、家族で読めた」「親子のかわりやPTAの事に、ホッとできた」など。
 子どもをめぐる社会制度の中で「心の東京革命」には、「当たり前」のしつけが提唱されるのは、子どもをめぐる環境が変わったから」「10代・20代の若い親達にはそれが当たり前のことではなくなっている」「子どもにさせようの押し付けではなく、したくなる環境を作ることが必要なのは…」など意見があった。

45号「メディアの中のジェンダーを意図したことはありませんか」の問いかけから
 ＊テレビコマーシャルについて
 「家事仕事は女性。性別役割分担と感ずる」(70代男性)
 「風呂掃除をする男性の姿はあるが、トイレ掃除は女性だけ」(多数意見)
 ＊ビール、日本酒、焼酎などは、男女・夫婦が出たが、高級な洋酒に女性は登場しない。高級なモノは男性だけ?」(30代女性)
 ＊男性は食べている場面が多いが、女性は食べる場所が少ないのはどうして?」(60代女性)
 ＊テレビ番組について
 「情報番組は野次馬的発想で作られている気がする」(40代女性)
 「女性の服装に季節感のない肌の露出が多い。町を歩く若い人がみな同じ姿。メディアの影響は大きい」(60代女性)



「まなこ」45号の会議風景
10月23日市役所第6会議室

＊雑誌・新聞について
 「女性週刊誌や子育て雑誌は、ファッションやメイクでキレイになるための内容が多い。女性は外見が大切?心の充実のほうが大事なのでは?」(60代女性)
 「ほとんどの男性週刊誌にスード写真が。女性の性をモノ扱いし侮辱している」(70代男性)
 「スポーツ新聞はポルノ的な情報が多い」(40代女性)
 ＊インターネットなどについて
 「検索したら、いきなり女性の裸が出てきて勝手にページが開かれた。子どもの目に触れる機会もある。イヤだ」(30代女性)
 「出会い系サイトで起る事件は情報の氾濫も影響しているのでは?正しい情報を受けるには正しい知識が必要」(60代女性)
 ＊情報に対して、放任主義ではダメ。いけないことはいけなく基本で教えるべき。けがする前に選択する目を養うことが大切」(60代女性)
 ＊メディアの中に潜む問題が見えてきた2時間だった。(構成 浅加則子)

情報エキスプレス

■ 武蔵野女性史の聞き書き作業、ただ今進行中!
 武蔵野市の女性が歩んできた生活の歴史や活動の意義を考え、女性史の基礎資料とするため、昨年3月に奥田暁子氏(女性史研究家)のもと男性1名を含む7名の市民による武蔵野女性史編纂委員会が発足した。
 武蔵野市に長く住む農家や商家の女性達、また外から移り住んだ方々からも、戦争、教育、家庭生活などのお話を伺い、作業を進めている。
 昨秋、開催された『女性史講座』全3回の中間報告では「地域の歴史を知って、愛着が持てた」「先輩達の生活や考え方にいとおしさを感じた」など参加者の意見が寄せられた。また、女性の労働力やバイタリティーに対しては、感嘆の声とともに女性史への期待も高まった。来春に発行予定。一人でも多くのお話をいただくことで武蔵野市の特性のある充実した女性史になるため、情

報を持っている方は児童女性課までご一報を。
 問合せ TEL 0422 (60) 1852
 ■ 第五期女性行動計画推進市民会議がスタート!
 昨年7月、第五期女性行動計画推進市民会議が発足した。同会議は女性行動計画の全体を見直して、女性関係施策のあり方等を検討するもの。今期の委員は12名(うち公募は2名)。男性委員4名、女性委員8名で構成されている。
 今後は第二次女性行動計画の実施状況をチェックし、第三期長期計画第二次調整計画をふまえて、男女共同参画社会の実現に向けた国や都の動きも視野に入れながら、第三次となる新しい女性行動計画の策定に向けて今秋にも答申を提出する予定だ。各委員は教育・家庭・職場・地域などの分野で抱えるそれぞれ問題点を洗い出すことから始めて、現在も活発な審議を進めている。

編集後記

☆ 「なせばなる なさねば成らぬ 何事も成らぬは 人のなさぬなりけり」JFケネディが尊敬した米沢の名君、上杉鷹山の言葉。山々に囲まれた冬の地を初体験。「何事も当たって砕ける」実感中。(浅加則子)
 ☆ 私なりに情報は選んでるつもりだったがけれど、まだまだ甘かったと反省。メディア・リテラシーの達人への道は遠くとも、物事を考える習慣はつけたいな。加藤和子
 ☆ ついついはまってしまふ健康情報も鵜呑みにするとかえって逆効果に。アンテナ張って、自分が必要な情報は何か、身のたけにちよっぴりスパイスを加えて。心豊かに生きるのには、結構むずかしい。(倉内弘子)
 ☆ ニューヨークのテロ事件は世界中の人がリアルタイムで視た衝撃的な事件だった。でも、反復される映像は人々を一時ヒステリックにしてしまったのでは…。事実でも扱い方によってはコワイ。(浜 俊子)
 ☆ 緊張して訪ねた私達にも、小玉先生は、やさしくわかりやすくお話ししてくれました。まさに目から鱗の思いの数々。樹木に囲まれた武蔵大学の構内を歩きながら、学生時代に戻りたいと思った。(森 治美)
 ☆ 久しぶりに一人で映画を観た。イタリヤが舞台のラヴ・ロマンス。主演の日本人俳優のファンで楽しみにしていた。隣に座ったカッパルの男の子、メガネをずらせて何度もハンカチを。横から女の子が「大丈夫?」…感性豊かな彼にも感動。(向井一江)

STAFF

レポーター 池見美貴子・長内レエ・梶井美香
 菊地一郎・栗原恵子・桑原照子
 高坂栄子・小林庸子・藤間みゆき
 橋戸 薫・福岡みゆき・藤井美里
 星 詩子・水上敏子

取材・編集 浅加則子・加藤和子・倉内弘子
 浜 俊子・森 治美・向井一江

デザイン 日比康人

印刷 横河グラフィックアーツ株式会社

表紙のイラスト、デザイナーから一言
 昔はラジオがいろいろな国で人々の考えをコントロールする手段として使われていた。メディアはその影響力を自覚するべきだし、情報を受ける側は、メディアに慣られない目を持つことが大事だと思います。

ちょっとボランティア
 むさしのFM市民の会 松岡 裕子さん
 知りたい・聞きたい・考えたい
 「メディア・リテラシー」を勉強! 武蔵大学教授 小玉美意子さん

特集 つくられた女らしさ・男らしさ

新春 座談会 メディアの中のジェンダーを見直そう!
 地域情報の発信者から、親の立場から

赤井久美子さん 大橋一範さん 佐々木一雄さん 折折暢子さん

※ ジェンダーとは社会的・文化的につくられた女らしさ、男らしさのこと。そこから生じる性差別を言う。

新しい年を迎え、情報の発信者と受信者の思いの違いや、ジェンダーに対する意識など地域メディアの担い手から、また親の立場から、それぞれ率直に語ってもらった。

出席者プロフィール

- 赤井久美子 53歳 リビングむさしの編集長
サンケイリビング新聞社「リビングむさし」は創刊30周年の地域生活情報誌。女性の暮らしをより良くする情報の提供がコンセプト。編集スタッフは女性。
大橋 一範 59歳 (株)吉祥寺情報センター代表
草分け的な地域情報誌「週刊きちよようじ」は創刊25周年、読者参加の吉祥寺タイムテーブル。過去にNTTタウン誌大賞受賞。スタッフはすべて女性。
佐々木 一雄 54歳 武蔵野三鷹ケーブルテレビ(株)企画制作ディレクター
武蔵野、三鷹両市の広報番組や、「パークシティニュース」など、地域放送番組の制作を統括。制作スタッフの男女比は半々、番組のキャスターやナレーターなどはすべて女性。
栃折 暢子 46歳 武蔵野市立第三中学校PTA会長
三中はボランティア指定校。生徒の地域活動も活発で、PTAが高齢者行事に参加する機会もある。教育目標に「品の良い人になろう」があり、中学校生活の規範に。
司会・進行 まなこ編集部

情報の発信者と受信者では考え方が違う

まなこ 情報を受信する側として、インターネットなどからの性情報に、どんな対応をしていますか?
栃折 夫も子どもも部屋にこもって機械に向かっていると家族から孤立しやすいので、パソコンをリビングに移動しました。自由にさせながらも、目を離してはいけません。(笑)。性情報にもいろいろありますよね。目にふれた時点でどうするかは、その人の品格の問題ですが。日ごろ親子の会話からも、折にふれて互いの価値観などを話し合うことが大事ではないでしょうか。
まなこ 情報を発信する側としては、いかがですか?
佐々木 ケーブルテレビでは、成人向けの番組も含め、たくさんのチャンネルが入ります。情報発信されたものを受信者が自由に選び、良い悪いは自分が考えること。メディア側が操作するものではないですね。
まなこ 視聴者側の取捨選択が問われてきますね。情報を発信する側はニーズがあれば、何でも作るのでしょうか?
佐々木 パークシティの責任で制作、編成がなされます。発信する内容に、主義主張を込めることはしません。これは守るべき一線ですね。そのかわり、いろんなテーマで活動するグループを

ゲストと呼んで、発言する場を設定する。たとえば「まなこ」の編集長を呼んでジェンダーを話してもらおうとか。これが地域メディアの大きな役割かなと思っています。
まなこ 制作する上でジェンダーの視点はどうですか?
佐々木 制作上では言われると正直なところないですね。ジェンダーについての内部規定も特にはないですから。
まなこ 最近の「むさし」のシティニュースを見ると、ジャンボリーやセカンドスクールの映像の中に料理を作るのは女子、食べるのは男子。耕運機の運転は男子。子どもの半分は女子なのに何か変だと思いませんか?
佐々木 現場では絵作りの良さを第一に考えていて、男女の比率までは考えていませんね。編集作業でも加工はしません。「料理をするのが女性で、食べるのが男性というのは不自然だ」と考えて、映像からそこだけを取り出し、撮り手の意図で加工する。そうすることが、果たして正しい情報なのでしょうか。
まなこ ジャンボリーでは女子もまき割りをしてるし、男子も料理を作っているんですけどね。
メディアは、男女平等参画の精神を取り入れて世の中の動きをリードする役目があると思いませんか?
大橋 あり得ませんね。それは生意気ですよ。我々は、まず真実を列挙

地域情報を担うのは女性?

まなこ では「週刊きちよようじ」はどう作られていますか?
大橋 地域メディアを、僕は女性がやるべきだと思っています。お金の面からいくと男の稼ぎ高と、女の稼ぎ高の違いが現実にある。サラリーマンのほとんどは働かずに金を稼いで来て家庭に持ち帰る。コミュニティを支えているのは主に女性だから、タウン誌は女性が編集長の方がきめ細かい情報を得やすいんじゃないかな。
まなこ 男性も、地域にかかわれる社会体制になれば変わるかもしれないですね。

情報を発信する職場での男女平等は?

まなこ 情報を発信する職場で、ジェンダーを感じたことはありませんか?
佐々木 社員に聞いてみました。自分の能力と関係ないところで、性差ゆえに評価を下げられるという意識はないみたいです。実感してないというところは、そういう場面が少ないことの裏付けでもありますね。もともと無自覚という言い方もあるかもしれない。
まなこ 大いにあると思いますよ。(笑)。女性の立場からは、赤井さん、いかがですか?
赤井 うちの会社でも男女差はほとんど感じません。あるとしたら子どもを持ち、休職したり、働きにくい状況になったり、再就職を考えたとき「なに、これ」って気がつくんですね。

大橋 正社員とパート労働者の間に階級ができてきているんです。その問題を片付けていけば、ジェンダーにはならないんじゃないのかなあ。

赤井 社会や家庭に3歳児神話や、子どもは母親が育てるものという考えが今だに根付いているんです。そういう問題に直面したときに「私ってすごく差別されている」って初めて感じました。
テレビコマーシャルは、あくまで絵空事で、片方には現実があることがわからない若いお母さんがいる。「髪振り乱して子育てすることは、まったく普通のことなんだ」と言ってあげなくてはいけませんよね。現実離れたコマーシャルを見て、違うんだと思う人が増えていくようにコミュニケーションをとるしかないでしょう。

男女平等は互いを認め合うこと

まなこ 最後に、男女平等社会はどうしたら実現すると思いますか?
佐々木 うーん、男女、お互い意識し合えながら、あるべき姿は五分五分の関係で考えたいとは思いますが。
大橋 まずそのものの、あるがままの状態を、お互い認め合うことから始めればいいじゃないですか。
赤井 女性も、もう少し大人にならなくては。女性の方が賢くなるチャンスはあるんですから。思うようにならない子どもを育てるたびに成長する。「なんで私がこんな理不尽な思いをするわけ」って(笑)、理不尽に直面すると人間は成長しますから。
栃折 メディアの情報によって女性が解放され自由になるように。なったのは良いことだと思いますが、それを引きがえてしまうことを危惧しています。親だけでなく周囲の大人たちも、子どもに教えていく必要がありますね。

赤井 今、妙に元気な若い女性を見ていて、ちょっと不安です。女性達にも強い部分、負けない部分はあるけれど、男の本当の意味の強さを知らないで飛び跳ねていると「違うんだよ」と思うことがあります。

大橋 男でも女でも本物に、どれだけなれるか。本物になってる人間はジェンダーなんか超えちゃうんですよ。
まなこ 「まなこ」もニセモノにならないように(笑)ホンモノを目指してがんばりたいと思います。

平成13年10月23日 市役所第4会議室で収録

文責 浅加則子 倉内弘子



大橋一範さん

メディアの中のジェンダーを言うのなら、なんで『慎吾ママ』を非難しないの? エプロンかけて、台所でメシ作ってさ、これがママの役割よ...みたいところで支持されているわけでしょう。あれこそ最高のジェンダーだと思うけど。



赤井久美子さん

テレビというメディアが、虚構の世界で勝手に作りあげる『理想』を、知らない間に刷り込まれてしまうのが、実は怖いこと。「これって、おかしいよ、違うよね」こんな声が増えてくれば、メディアは絶対に変わるはず!



佐々木一雄さん

ケーブルテレビは一人ひとりのニーズに応えられるように、たくさんのチャンネルを用意して、いろんな情報を提供しています。発信側がコントロールするんじゃなく、選択する側が意識を持つ。そのことが大切だと思いますよ。



栃折暢子さん

子どもには見せたくない情報を、ふれないようにする親の役目もあるんだけど、ただ「ダメだよ」って排除する前に、なぜそれがいいのか、どうすべきなのか、親子でフランクに話し合う。そんなキッカケにしたいですね。

特集 メディアがつくる女らしさ・男らしさ…。あなたは、どんなふうに感じていますか？

みなさんに、アンケート形式で聞きました。

※メディアとは情報を伝達する媒体のことでテレビ・ラジオ、新聞・雑誌、インターネットなど。
 ※メディア・リテラシーとは発信された情報の分析など、情報を主体的に読みとる能力のこと。

アンケートにボランティア協力いただける方を募集。
 詳しくは児童女性課女性計画係まで。

テレビ・ラジオのコマーシャルや、雑誌・新聞の広告の中で、なんとなく変だなと、思うものは？

- ★車の雑誌の表紙に、水着の女性…というのが不思議だ。女30歳 八幡町
- ★テレビCMのフロ掃除洗剤で、夫がいかにセッセと掃除している姿があまりにもわざとらしく、笑ってしまう。女39歳 緑町
- ★週刊誌の広告で、男性誌は女性の体や性をおおげさに表現した見出しが多く、女性誌は芸能界や事件などを対象としたものが多い。女44歳 米沢市

- ★風邪薬や頭痛薬のCMに出てくるお母さん、なぜかいつも優雅な専業主婦のイメージ。女53歳 市内在勤
- ★家電CMのほとんどが女性。単身赴任の父や一人暮らしの男が洗濯機を操作してもいい。女70歳 境南町
- ☆「トイレ掃除は女性の役目」は性差別と思うが、私と同年配の男性がそういうCMにでてきたら、かわいそうに思ってしまうかもしれない。男74歳 吉祥寺北町

テレビ・ラジオのニュースや、雑誌・新聞の報道の中で、男性だから、女性だからと、性によって偏った表現を感じたことは？

- ★女性がトップに立ったりすると皮肉っぽく、女社長！というように大きく取り上げられる。女24歳 吉祥寺北町
- ★以前、飛行機のニアミス事件のとき、民放の男性アナウンサーが「女性管制官」の指示ミスという言い方をした。すぐに抗議の電話をすると、その後、番組の中では女性管制官と言わなくなった。女43歳 西久保
- ★週末の夜の某番組で、一週間分の芸能情報をランク付けして紹介する「お父さんのためのワイドショー講座」コーナーがある。なぜお父さんだけ？働く母親も多いのに。女44歳 米沢市
- ☆なにをもって性差別と言うのだろうか。あまりピリピリすると言葉狩りになり、日本語の豊かさが失われて、文明の崩壊につながるのではないかと。男55歳 市内在勤
- ★夜中のテレビを見ると全てがわかる！女59歳 中町
- ☆女性大臣の私生活や発言が、男性大臣よりも細かく報道され過ぎているように感じる。男70代 吉祥寺北町

性を商品化したような情報に対して、どう思いますか？

- ★参加する者・させる者、人間としての尊厳を忘れている。女30歳 八幡町
- ★一番原始的な商売で、ある程度は認めざるをえないかも。ただ未成年者を守るルールは必要だ。女39歳 練馬区
- ★大切なことは、子どもの教育と大人の意識改革。くわえて法の整備。この3つを地道にやるしかない。女43歳 流山市
- ★言葉もない。女46歳 吉祥寺東町

- ★商品化した性を買う男性には意識を変えてもらう以外に道はないが、そのためには彼自身の人生を豊かにする必要もありそうだ。女53歳 市内在勤
- ☆タブロイド紙での風俗店紹介の多さには驚くばかりだが、働く本人よりも搾取する者の存在が社会を不健全にする。男70代 吉祥寺北町

「なんとなく変だな」と感じたら、具体的に、行動を起こしますか？

- ★友人同士では話すが、投書などはしたことがない。女24歳 吉祥寺北町
- ★そういった活動をしている市民グループに期待する。女30歳 八幡町
- ★投書や抗議で、一人ひとり声をあげることが重要だと思う。女32歳 中町
- ★弁護士に相談するのも、ひとつの手段。女42歳 境南町
- ★携帯電話に侵入する出会い系サイトが迷惑だったのでメールナンバーを変更した。女43歳 中町
- ★市民の投書や抗議を冷静に聞き届けてくれる機関があったら知りたい。女44歳 米沢市
- ★まず周りの人々に話し同調者を増やしていくことが結局は早道かも。53歳 市内在勤
- ☆マスコミは興味本位で流し過ぎるので、無視する。取り上げない。男55歳 市内在勤
- ★行動を起こせない自分に腹が立つ。女62歳 中町
- ★抗議の電話をかけたいが、方法がわからないので、イライラする。女81歳 西久保

自分なりの判断基準で、必要な情報を選んでますか？

- ★一応自分の、ものさしに照らし合わせている。女37歳 境
- ★本能的に「これはイヤ」と思うものは避けている。女39歳 緑町
- ★基準はあるが、けっこう情報の洪水におぼれそうな毎日…。女43歳 西久保
- ★自分に必要なものを、他人に左右されずに選ぶ。女48歳 中町
- ☆選択の基準も常に迷走し、判断もコロコロ変化する。結局、自分に都合のいい情報だけを取り入れる。男74歳 吉祥寺北町

テレビ局・新聞社問い合わせ先

NHK視聴者センター 午前9時～午後10時 年中無休	03 (3465) 1111 (代)
日本テレビ視聴者サービス部 月～金/午前9時～午後5時 土日祝/留守電	03 (5275) 1111 (代)
TBS視聴者サービス部 月～金/午前10時～午後7時 土日祝/休	03 (3746) 6666 (代)
フジテレビ視聴者なんでもサービスセンター 月～金/午前9時30分～午後9時 土/午前9時30分～午後5時30分 日祝/休	03 (5500) 8888 (代)
テレビ朝日視聴者センター 月～金/午前8時～午後11時30分 土日祝/留守電	03 (3587) 5111 (代)
テレビ東京視聴者センター 月～金/午前10時～午後9時 土日祝/留守電	03 (3432) 1212 (代)
朝日新聞社広報室 月～金/午前9時～午後9時 土/午後6時まで FAX03 (5540) 7618 24時間対応	03 (5540) 7615 (直)
産経新聞社読者サービス室 月～金/午前9時～午後6時 土/午後5時まで	03 (3231) 7111 (代)
東京新聞読者応答室 月～土/午前10時～午後6時 日祝/休	03 (3740) 2700 (直)
日本経済新聞社読者センター 月～土/午前10時～午後6時 日祝/休	03 (3270) 0251 (代)
毎日新聞社読者室 月～金/午前9時～午後9時 土/午後7時まで	03 (3212) 0321 (代)
読売新聞社読者相談 月～土/午前10時～午後9時 日祝/休	03 (3216) 4100 (直)

参考資料「女性とメディアの新世紀へ」財団法人 東京女性財団

豊かな会話の中で伝えたい

レポーター 星 詩子 37歳/境
 コマーシャルの世界や報道の中では、ジェンターの偏りがしばしば見受けられます。けれどもNHK番組「おかあさんといっしょ」のキャラクターには、とても優しく家事までこなす男の子や、気が強く活発な女の子がたくさん登場してきました。自然に受け入れ、楽しんで見ていた子ども達。未来像は変わっていきたくもありません。

私にはテロの報道にしても新聞を読む一方でインターネットをのぞいてみるし、ニュースの味付けがテレビ局によって違うので、複数の局の報道番組を見てみたいですね。



(構成 浜 俊子)

私、こんな情報いりません！

レポーター 池見美貴子 24歳/吉祥寺北町
 「メールアドレス完全非公開の出会い系サイト！女性は無料、男性はお試し付き！」
 最近、こんな内容のメールが私の携帯電話に届くことがあります。こういった出会い系サイト紹介の迷惑メールが、一般メールを遅延させるという影響も出ているとか。しかも携帯電話会社によってはメール受信に料金がかかるため、私の友人などは金銭的にも痛い思いをしています。そもそも「女性は無料、男性は…」という違いは、女性登録者を無料で増やしたいから、という意図があるのかもしれない。

やし、男性登録者を釣るといって考えようが、売りものどされる女性に対して失礼なだけでなく、釣られるという男性にも失礼な話です。今は男女が平等になってきたと言われますけど、電車の中吊り広告の文句や男性誌のヌードなど、女性への見方って変わっていないなと、思うことがあります。私は雑誌の広告やテレビのCMなどでも、自分に必要な情報だけを選んで見たいですね。



市メディアの中のジェンターに対する市の方針は？

平成12年12月に策定された「武蔵野市地域児童育成実施計画」の中で、子ども達に対し、情報の信頼性を合理的に判断する能力を養い、情報を利用するときのマナーやモラルを教育していく、としている。

- 私達が行動を起こすときの窓口は？
- 「民放連視聴者意見受付FAX」 FAXのみ24時間受け付け、資料としてのみ取り扱う。FAX 03 (3264) 26990
- 「放送と人権等権利に関する委員会機構（BRO）」放送による人権侵害などを受けた苦情申し立て人、放送局との話し合いで解決できない場合に、苦情を審理し見解・勧告を出す機関。FAXのみ24時間受け付ける。FAX 03 (5212) 7330
- 「社団法人日本広告審査機構（JARO）」CMについて意見や提言ができる。TEL 03 (3541) 2811

都メディアの中のジェンターに対する都の方針は？

平成4年、9年に続き、平成13年10月に一部改正された「東京都青少年の健全な育成に関する条例」の中で、コンビニ店や書店などに不健全図書などの区分陳列を義務づけた。

メディア社会における制度と国・都・市の方針

メディアを規定するものは放送法だけ？

憲法21条では言論、表現の自由が定められ、メディア社会が法律にしばられず、自由な意思を表明することで真実の報道を義務づけている。昭和25年に制定された放送法では、番組編集の自由を保証したうえで、①公安および善良な風俗を害さない。②政治的に公平。③報道は事実をまげない。④意見が対立している問題については、多くの角度から論点を明らかにする。の4点を示している。プライバシーや性表現に対しては、もちろん自主規制が必要であり、各メディアの団体は、独自の放送基準を定めている。

- NHKは「日本放送協会国内番組基準」
- 民間放送連盟は「日本民間放送連盟放送基準」
- 日本新聞協会は「新聞倫理綱領」
- コンピュータソフトウェア倫理機構は「コンピュータソフトウェア倫理規定」など。

国メディアの中のジェンターに対する国の方針は？

平成12年に策定された「男女共同参画基本計画」の中で、メディアからの膨大な情報を、各人が主体的に判断して受け入れる能力（メディア・リテラシー）の向上にむけて支援を行う、とした。具体的な施策として次の3つを抜粋。

- ①メディアが女性の権利の尊重に対する認識と、ジェンダーに敏感な視点を養うための社内教育などを行うように、働きかける。
- ②性・暴力表現や性別役割分担意識による表現を改善するために、企画・制作・方針決定・編集などメディアのあらゆる段階で女性を登用するように、自主的取り組みを促す。
- ③インターネットによる不適当な情報を受信者側で排除できるシステムの開発や普及をしていく、など。

知 聞 考 りたい きたい えたい

「メディア・リテラシー」について勉強してみました

情報を正しく判断したり、必要な情報を選択するには…、自分の意見や考えを発信していくには…どうすればいいのだろう。ジャーナリズムやマスコミュニケーションの研究者で、映像の管理委員もつとめる、武蔵大学社会学部部長、小玉美恵子先生の研究室を訪ねた。

◆氾濫する性情報には、どのように対処すべきですか？

大人も子どもも自然に持つ性的関心と、ポルノ的なものを区別して考えることが必要です。ポルノは性を商品化すると同時に、女性を、男性の性のけ口として男性の言いなりにするように描いています。この点をまず大人にきちんと認識してもらい、子どもに対しては、男性(父親)、女性(母親)それぞれの立場から性の話をしたり、いっしょに講座を受けて勉強したりすることが大切だと思います。大人にも性教育が必要ですね。

◆ポルノには、規制が必要ですか？

言論の自由という立場からすれば、規制は少ない方がよいので、その際、大きな役割を果たすのは市民運動ではないでしょうか。市民が話し合って、市民なりの見解を提示する。それが良いものであれば、必ず他の地域でも真似をするはずですよ。たとえば地域



武蔵大学のキャンパス



江古田の街を見下ろす8階の研究室で

のケーブルテレビの関係者や書店、コンビニの経営者と話し合っって自主基準を作るとか。それでもうまくいかないときには、女性の人權をそこなう表現などには、ある程度の規制が必要になるでしょう。

◆メディアの作り手の側は、常にジェンダーを意識しているものですか？

千差万別でしょう。ただ、メディアも圧倒的に男性優位の社会です。男性の視点で、ものを見ていることは否定できません。大切な

ことは、作り手の側の人達が、自分達の目がジェンダー的偏りを持っているかもしれないという自覚を持つことです。

◆メディアに対し投書をしたり、抗議の電話をかけたりますことは必要ですか？

テレビ局などは意外に人の目を気にするので、良くないと思うことは伝えていくべきだと思います。意見や苦情を視聴者センターへ言っていけば、そこで記録されて担当部署を含む全社へ回ります。意見を書くときのコツは、良いところはほめ、悪いところはきちんと指摘すること。集団としてより、個人が自分の意見を率直に書くべきです。

◆自分に必要な情報を選択するのに大切なことは？

まず、実体験を豊富にすることですね。情報と体験を比較しながら、何が正しいかを見きわめる能力を養うことです。それは、メディア・リテラシー、いわばメディアと賢く付き合う能力と関連しています。その能力とは…、

- ① メディアを上手に利用して取り込む能力
- ② 情報を批判的に読み取る能力
- ③ 自ら発信する能力

◆これらの能力を効率的に身につけるには、どんなことが大切ですか？

情報源はどこか、常に情報の発信元に注意し、その性質について考えることが大切です。そこを軸に、誰の目でものを見ているかを考えることで判断力はかなり養えます。ジェンダーも、ひとつの軸ですね。

●武蔵大学
〒176-8534
東京都練馬区豊玉上1-26-1
TEL 03(5984)3727
FAX 03(5984)3879

*映倫
映画倫理規定管理委員会の略称。1949年、日本で制作・上映する映画の道徳的水準の低下を防ぐため、映画界の自主規制機関として発足。

ちよん

ポランティア

地域の情報 On Air!

『むさしのFM市民の会』
松岡裕子さん 40代 (緑町)
開局7周年を迎えたむさしのFMは新商工会館に、昨年新しく3つの放送スタジオを構えた。この地域密着型のコミュニティFM局に、情報ボランティアとして協力しているのが『むさしのFM市民の会』だ。

「情報を発信することは誰にもできます。電話でもFAXでもメールでもOK。あなたの発信した情報は、番組の中で放送されるかもしれません」と、会の代表をつとめる松岡裕子さん。運営委員会のパワフルな女性達がコーディネート役割をして、月々金の午前11時20分〜30分まで情報番組『むさしのtoday』を放送している。市内13町の市民ボランティアが、電話で生出演。スタジオのパーソナリティーを相手に、各自が取材したさまざまな情報を提供している。楽しい会話や市内の身近な話題が好評で、1月には1200回を越える。松岡さん



『On Air』の表紙・題字デザインも担当



総防災訓練で情報収集伝達技術を磨く前列左が松岡さん

んも3、4か月に一度のペースで出演している。「現在は、会の活動も情報の提供者も女性を中心。男性の参加が少ないのは、ちょっと寂しいですね。男性ならではの視点も興味深いところ。情報をお持ちの方は是非ご連絡ください」

●むさしのFM市民の会事務局
〒180-0033
武蔵野市吉祥寺南町3-7-2
中村方
TEL・FAX
0422(44)4719

●年4回会報の『On Air』発行。活動内容を掲載。市役所、市政センター、図書館などに置いてある。

トピックス

むさしのヒューマン・ネットワークセンターでは

■ 今回のテーマに関する本。情報部の小境範子さんが紹介してくれたのは、

月刊 女性情報
内田ひろ子 (有)パド・ウィメンズ・オフィス
全国20紙の新聞切り抜き情報を、女性の視点で分類・紹介。政治・子どもなど項目立てで見やすく、月毎の特集には、女性を取りまく今が見える。イベント、グループリストなど情報も充実。最新号は、問い合わせを。

私たちの便利帳3
ジョジョ企画
女性センターからレストランまで、全国の情報を網羅。欲しい情報を手に入れるための文字どおり便利帳。女性ネットワークの広さも見えて、頼もしい一冊。

クワッサン症候群
松原惇子 文芸春秋
1980年は自立を謳う女性誌の創刊ラッシュ。中でも影響力の大きかった雑誌クワッサン。迷える女達に提示した結婚しない生き方は、彼女達を幸せに? 13年前の本がメディアに生き方を左右される様子は今でも十分にコワイ。

- 3周年記念講演会「自分らしく、のびやかに生きる私」(仮題)は平成14年3月に榎山文枝氏をお迎えしイングホールで開催予定です。
- 子育て支援データベース「むさしの生活情報・子育て編」作成のためアンケート実施中。子連れで行けるお店など地域の身近な情報をお寄せください。アンケート用紙はセンターにあります。ホームページにも掲載。FAX、メールで回答を。情報確認のボランティアスタッフも募集中。 http://www.clipcraft.com/m_hnc/
- 人間関係セミナーは、幼児虐待や家庭内暴力、職場と家族の人間関係・外国での子育て支援について考え、参加者と一緒に学んでいます。今後の実施は市報に掲載。
- 平成13年12月1日よりセンターの印刷機使用料が変更されました。市の女性団体登録者は無料。いずれも用紙は持ち込みとなります。
- 相談室を開設しています。電話で予約を。秘密厳守。
水曜日 午後6時〜午後8時
土曜日 午前10時30分〜午後8時

※ 問合せ TEL・FAX 0422(37)3410
Eメール m-hnet@parkcity.ne.jp

児童女性課女性計画係では

■ 配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律(ドメスティック・バイオレンス法)が平成13年10月13日に施行されました。

Q.配偶者からの暴力とは?(第1条)
配偶者(婚姻届を出していないが事実上婚姻関係にあるものを含む)からの攻撃で生命又は身体に危害を及ぼすものをいいます。

Q.被害者とは?(第1条第2項)
配偶者から暴力を受けた者(配偶者の暴力を受けた後婚姻を解消し、引き続き生命又は身体に危害を受けるおそれがあるものを含む)です。

Q.国や公共団体はなにをするの?(第2条)
配偶者からの暴力を防止し、被害者を保護する責務があります。

Q.具体的には?(第3条〜)
相談したい人には、警察、配偶者暴力相談支援センター(平成14年4月1日までは婦人相談所が担当)などが相談を行います。夫から逃れたい人には、婦人相談所が一時保護業務を行います。夫が近よってこないようにしたい人には、地方裁判所に申し立てると、保護命令(接近禁止命令、退去命令)が出されます。

犯罪被害者ホットライン(警視庁)	03(3597)7830
月〜金 午前8時30分〜午後5時15分	
東京都女性相談センター立川出張所	042(522)4232
月〜金 午前9時〜午後4時	
東京ウィメンズプラザ	03(5467)2455
月〜土 午前10時〜午後5時(日・祝日は4時30分)	
武蔵野市家庭児童相談室	0422(60)1850
月〜金 午前9時〜午後5時	

- 第18回日本女性会議2001水戸が平成13年9月28日〜29日に開催され、男女共同参画社会の実現を目指し「世界を拓こうあなたと偕(とも)に」をテーマに、全国から約3,000人が参加しました。基調講演は内閣府男女共同参画局長の坂東真理子氏と東京学芸大学助教授の山田昌弘氏による「のびやかに生きる」。坂東氏は「教師が子どもを、上司が部下を殴ることは許されない。同様に夫婦や親しい者同士の暴力も許されない」、山田氏は「暴力を我慢すれば経済的に保障される構造を改革し、男女共、自分の人生に精神的・経済的な自立が必要である」と述べました。

※ 問合せ 〒180-8777 武蔵野市児童女性部児童女性課女性計画係
TEL 0422(60)1852 FAX 0422(51)0714